



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月11日
我孫子市小中一貫教育だより
第354号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「みつけてみよう」

新木小学校の1年生道徳「みつけてみよう」で Abi-ふるさとの授業が展開されました。

最初に、先生が教科書を読みながら、挿絵についてみんなに質問していきます。挿絵と同じように、新木小学校の周りや我孫子市内にも、公園や図書館、パン屋など、たくさんの魅力的な場所があることをみんなで確認しました。

次に、それぞれの通学路の素敵なおところを考え、ノートに書いていきます。すぐに思い出せない子も、一学期の生活科の通学路探検の掲示物を振り返ることで、素敵なおところに気づき、ノートに書くことができました。その後、近くの友達と共有しながら気づきを深めました。

そして、学級全体で通学路のコースごとの素敵なおところを発表していきます。坂道、色々な落ち葉、畑、家、看板、公園等々、様々な視点で通学路にある素敵なおところを見つけることができました。また、「手を振ってくれる車掌さん」や「みんなの安全を守ってくれる安全管理員さん」など、新木には素敵なお人がたくさんいることにも気づきました。

本学習をとおして、新木の町の魅力に気づき、「もっと新木や我孫子について知りたい。」「もっと魅力を探してみたい。」という思いを持つことができました。



Abi-キャリア「つうがくろにはなにがある～交通安全～」

高野山小学校の1年生が、学活「交通安全」の学習で Abi-キャリアの授業を行いました。我孫子中学校区は小中を一貫させたオリジナルカリキュラムのテーマを安全教育として作成中です。今日は、学区内にあるヤマト運輸と地域連携をした授業です。

授業が始まると、ヤマト運輸の方から「みんなにとっての一番大切なものは？」という質問がありました。児童は「命」と答え、「大切な命を守るために交通安全のルールを守る」という授業で学ぶことの意義を共有しました。

次に車両を使い、「運転手からは見えない死角」があることを知りました。身を乗り出し「確かに」「なるほど」などと呟きながら、視覚的に理解を深めました。横断歩道で手を挙げる理由について、「運転手からよく見える」「他の人への渡る合図」などの回答が出たことにも驚きました。

その後、横断歩道の正しい渡り方を確認し、信号を見ながらルールを守って横断歩道を渡る体験をしました。ヤマト運輸の方が寄り添い、優しく導いてくれました。

終わりの会の感想発表では、学んだことがその日の放課後からすぐに実生活で生かされるだろうということを感じました。

